

夏休み明け 生徒指導の話

2018年8月28日(火)

まずは、今日、みんなが元気にそろってよかったです。

夏休み中、みんなに気をつけてほしいことを話しましたね。火遊びをしない。水の事故、交通事故に気を付ける。お金をあげたり、貸し借りをしない。外で遊ぶ。安全に気を付けて、元気に過ごせたのかなと思います。

一人ひとり、それぞれの夏休みがあったと思います。そんな、みんなと一緒に2学期を迎えることができ、先生も嬉しいです。(というメッセージ。)

そして、9月。楽しい行事は、まだふくらんだことのない風船のようなもの。それを、みんなのやる気でふくらませていきましょう。(という生活の中の価値をにつなげて)

そのためにも、みなさんの健康と安全が大切です。(以下、生徒指導の本題につなげる)

- ・通学団では、決められた並び方で並んで、団長副団長さんの言う事を聞いて、安全に登下校しましょう。
- ・まだまだ暑い日が続くので、汗をかいたり、のどが乾いたりしたら、水分を取るようにしましょう。
こまめに水分を取る。飲み物を持ち歩く(人の水筒は飲まない。)、休憩をこまめに取る。

(実物とかパネルを見せる。キダチアロエ。)

このアロエ、いろんな体や肌のシンドイや困ったに効き目があり「医者いらず」と言われるほど万能な植物で、古くから様々な人々の生活に役立てられてきました。アロエが使われた最も古い記録は、およそ3500年も昔のこと。アレキサンダー大王、クレオパトラ。

ア あいさつしよう (自分から、学校だけじゃなく、登下校の時も)

「挨拶」とは心を開いて相手に近づくということ。「挨拶」とは生きていることを感謝し合うこと。

あいさつは、お互いに心を開いて、相手を一緒に生きる仲間として認め、お互いに信じていることができるようになっていくための大切な一瞬だということ。

元気な挨拶は相手に対する思いやりであり、相手との関係をより良くする、大事にする、それが挨拶の大切さだと思います。

ロ ろうかは走らず、ゆっくり歩こう

(危ないから。廊下を走って転んでしまい、骨を折るなどの大怪我をしたことがある。)

廊下の曲がり角で、走ってきた子ども同士が衝突したことがある。

ケガをしないように気を付ける。雨の日は、1階ホールで児童会が遊びをする。)

エ 笑顔で過ごそう (自分に何ができるか考えてみて。やさしい言葉、やさしい声のかけ方。)

『楽しいから笑うのではない。笑うから楽しいのだ』

『幸せだから笑うんじゃないよ。笑うから幸せになるんじゃない。』ちびまる子ちゃん、おばあちゃんの台詞。
笑顔をしているから嬉しくなる出来事が起こるそうです。

みんなが、笑顔でいられるように、2学期も過ごしてほしいと思います。